



リレーエッセイ

ハードルを越えて

みぞ かわ あつ や
溝川 敦也さん
(鹿児島市)

2017年10月、第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」に出場し、聴覚障害の障害区分において陸上競技の800mで2位、1500mでは自己ベストを更新し、3位に入賞しました。

小さい頃から走ることが好きで、小学生の時は地元のチームで練習していました。誰よりもいっぱい練習をしてきたので、きつい思いをしたこともありますが、大会で勝負したいという目標ができるよう練習も楽しめるようになりました。大会前は、毎日インターバルトレーニングを行い、土日は自宅で自主練習もしていました。全国大会への出場は2回目ですが、緊張していた1回目と比べると、今回は「自分より速い人を追い越したい」という気持ちの方が強く、練習を頑張った甲斐あって、より高いレベルで臨めたと思います。

全国障害者スポーツ大会の1週間前には、鹿児島聾学校高等部が「第25回全国高校ロボット競技大会秋田大会」に出場を果たしました。特別支援学校の出場は県内初。全国でも初めてといわれています。私は大会に向けて、大会当日と同様の練習用コートを作るなどサポート役に徹しながら、操縦担当の大西君と共に3年生としてチームを引っ張り、県勢トップの14位という成績を収めることができました。「障害があっても負けたくない」という思いで日頃から活動し、大会ではチームが全力を発揮できるよう支えることができ良かったです。

鹿児島聾学校での学校生活では、生徒会長を務めたり、たくさん本を読んだりと様々なことを経験しながら、先生方やみんなと一緒に充実した毎日を送ることができました。4月からは社会人になりますが、全国大会出場などこれまでの経験をもとにもっと成長できるよう頑張ります。そして、これからも陸上競技に関わっていきたいと思っています。



毎日懸命に練習に取り組んできた溝川さん。県大会を経て、愛媛大会では1500m種目で自己ベストを更新



大会の約半年前から、学校の実習の時間などを利用して準備を進め、競技メンバーをサポート。チームワークの大切さも学んだ

広告欄

心通い合う福祉支援と共生社会の実現を



社会福祉法人

更生会

鹿児島県南九州市頰娃町別府4710-6 TEL:0993-38-0234 FAX:0993-38-0863

障害者支援施設 **榎山学園**
障害者支援施設 **慈生園**
障害者支援センター **すてっぷ**

介護老人福祉施設 **望洋の里**
養護老人ホーム **寿楽園**
就労継続支援A型事業所
給食センター **つどい**

